

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業費 [自立支援金支給事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	3	生活保護費	目	1	生活保護総務費	事業番号	5
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)										
	<input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの										
担当部署・課長名	生活福祉			課	庶務			係	課長名	青木 一麻	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 5		
【施策名】 社会保障の充実								総合計画書(ページ)	63		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	制度対象者 →					支給決定者数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	新型コロナウイルス感染症により、生活が困窮している世帯に対し、求職による自立もしくは、生活保護へ繋げるために、一時的に給付金を支給する。 →					支給額					
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	①対象となる可能性のある世帯への申請書類等の発送 ②自立支援金の審査 →					①申請書類等発送件数 ②申請件数					
	対象指標		①の数値	人	過去2年間の実績		当該年度		成果目標		
成果指標		②の数値	円	平成31年度実績		令和3年度実績		令和4年度目標			
目標		②の目標値	%	令和2年度実績		令和3年度実績		令和5年度目標			
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 適正に給付金の支給を行う。											
活動指標		③の数値	①件 ②件			①811 ②171					
3 経費	事業費(実績)		円			32,990,174					
	財源	一般財源	円			174				※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		特定財源	円			32,990,000					
	(うち受益者負担)		円			0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人			2.0					
		所要人数(再任用)	人			0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円			16,500,000					
職員人件費(再任用)	円			0							
事業費+人件費		円			49,490,174						
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く										
	①求職活動報告未提出による支給中止者がいる。 ②事業開始当初は申請受付期間が令和3年8月31日までだったが、3回の延長により令和4年6月30日まで延長された。今後も延長される可能性があり、延長の度に要綱の変更、期間延長の周知などが必要になってくる。										
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く										
	①求職活動報告の未提出者については自立相談支援機関(そえる)と連携し、求職活動の促し、求職活動報告の提出について督促を行う。 ②支給期間の延長対応については作業をテンプレート化し、必要な作業に漏れがないようにチェックを行う。										